GOGO! バイク
ご利用まえに ご承知おきください

安全のために

原動機付自転車免許に該当

GOGOバイクは、基一種原動機付自転車です。普通バイクをご予定の場合は免許証の携帯、ヘルメットの装着が必要です。

ペダルによって本質的な走行させる場合（アシスト）は該当免許は、原動機付自転車とは別扱いとなります。ただし一定速度以上走行の場合はそれぞれ該当免許が必要です。

また、道路交通法の改正により、2023年7月1日より、一時停止の取り締まりが厳しくなりました。

一時停止をしても、安全を確認してから発進しましょう。

原動機付自転車免許を推奨

原動機付自転車免許の携帯が必要です。

ヘルメット着用の義務

車両の保安基準を定める道路運送車両法において、定格出力0.6kW 以下の原動付自転車に該当します。

ただし、運転者は、ヘルメットを着用しなければなりません。

交通安全ルール遵守

道路交通法を遵守して安全運転をこころがけてください。

二段階右折は必要ありません。

電動バイクは、普通免許にて、
免許は当てずすべき。
免許は当てずすべき。

自動車専用道路の走行はできません。

スピードは出ません。車のブレーキをかけてください。

交差点やカーブを曲がる際には、十分に減速を落としてください。

不必要なアクセルをふかしないでください。タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。

道路の端や白の点線いる等走るなどください。

駐車や車両横切の危険があります。

次の場合は運転は絶対にしないでください。

● ヘッドホンを使用しながらの運転
● 飲酒運転　● 体が乱れ運転　● 人乗り
● 携帯電話を持ちながらの運転
● 信号無視　● 逆走

安全に乗るために

スピードは控えめに、早めのブレーキを心がけて下さい。

交差点やカーブを曲がる際には、十分に減速を落としてください。

不必要なアクセルをふかしないでください。タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。

道路の端や白の点線いる等走るなどください。

駐車や車両横切の危険があります。

次の場合は運転は絶対にしないでください。

● ヘッドホンを使用しながらの運転
● 飲酒運転　● 体が乱れ運転　● 人乗り
● 携帯電話を持ちながらの運転
● 信号無視　● 逆走

バッテリーについて

走行中のバッテリー残量が、メモリ1つ（20% 以下）になったら速やかに走行を止めてください。走行時間に応じたバッテリー残量が、メモリ1つ（20% 以下）を走行中にメーターに表示されます。走行中のバッテリー表示がメモリ1つ（20% 以下）、残距離は約5 kmです。

※走行距離や乗車による状態距離は変化します。

モードチェンジについて

ナンバープレートはカチッと音がするまで回転させてください。

ナンバープレートは中途半端な位置で走行しないでください。**中途半端な位置で走行すると故障の原因**になります。

ナンバープレート表示と走行モードをご確認の上、ご安全に走行してください。

PAS＝アシストモードがアシスト自転車に変わるときは、自転車の交通ルールを守って走行してください。

THROTTLE ＝ 電動バイクモード（原行）

PAS ＝ アシストモード（アシスト自転車）

ナンバープレート回転方法

① ナンバープレート横の**ノブ**を引いた状態で、もう片方の手でナンバープレートを持ち、回転させる。

※必ず車体を停止させてから操作してください。

※ナンバープレートを回転させ、モードを切り替えます。

② ナンバープレートを回転させたら、ノブを元に戻す。液晶ディスプレイのモードが切り替わっているか確認する。

! この時、ナンバープレートが斜めになっている場合や回転途中の状態だと、ノブが戻りきらない場合、モードが切り替わりません。

! ナンバープレートの回転は必ず両手で行ってください。無理なお力が加わると破損の原因になります。

ご利用方法

STEP 1

アプリをダウンロードし、**事前登録を完了する**

アプリでモビリティのQRを**読み取る**

※アプリのバッテリー残量が十分あることを確認してからレンタルください。

STEP 2

これ用フラシを通す

画面上の「開錠する」ボタンをタップして、後輪の鍵が開いていることを確認してください。

STEP 3

電源ボタンを**長押し**する
液晶が表示されます

走行ボタン**スピードモード**を**設定**します

STEP 4

「THROTTLE」電動バイクモード（原付）

走行モードをナンバープレートを回転させて、モードを選択する。
液晶画面でモードが切り替わっている確認する。

「PAS」アシストモード（アシスト自転車）

※ナンバープレートが斜めになっている場合や回転途中のままだと、ノブが戻りきらない場合、モードが切り替わりません。
回転させる際は必ず両手で行ってください。

【電動バイクモードの場合】
＝アクセルグリップを回し発進

【アシストモードの場合】
＝ペダルを漕いで発進

返却方法

STEP 1

ポートに停めて、後輪のリング錠をロックする

※モビリティはポートにて返却下さい。
ポート以外に返却した場合は課金金が発生します。

STEP 2

アプリで「返却」ボタンを押し、モビリティの電源が切れたら返却完了です。

ご利用上の注意

モビリティ重要の基準

乗車定員	車両総重量	カゴ最大積載量
運転者1名	90 kg以下	10 kg以下

利用時の禁止

- 原動機付自転車免許証の携帯が必要です。
- 乗車中は運転者にしっかり腰掛けた状態でご利用ください。乗車中はしっかりとハンドルを握り、安全な姿勢でご利用ください。
- 危険運転や道路標識違反など、ご利用規定とされていただくことがあります。付き添いや必要とする利用者様から常に注意をお願いします。
- モビリティは一人乗りとなっております。小さなお子様を乗せての二人乗りは危険ですのでお止めください。
- 運転中は携帯電話などご通話にたりスマートフォンなどを操作するなどの行為は絶対にしないでください。
- 飲酒運転は法律により禁止されております。飲酒運転は絶対にしないでください。
- その他、道路交通法に従って安全運転をこころがけてください。
- 以下の行為に及んだ場合、違約金を請求いたしますのでご注意ください。
  - 指定されたポート以外に返却した場合：50,000 円
  - 傾倒への放置違反：10,000 円
  - 自己責任等に該当への通報を等、当日管理者または第三者の指揮等によって事故が発生した場合：50,000 円
- その他各種ご利用規約をご確認ください。

利用できない人

心臓疾患を持つ方、血圧異常の方
妊婦、乳児、骨格、体格の発育を妨げる方
妊娠中の方
体力制限のある方
体調不良の方
その他運転によって悪化する症状をお持ちの方、運転に適さないと判断される方は利用できません。

補償制度について

GOGOバイクは、ご利用中の万が一の事故に備え下記の金額を限度とした補償サポートを利用料金に含まれます。

- ▶ 対人補償（他人を死亡させたりけがをさせた人に場合の補償）：無制限
- ▶ 対物補償（他人の物や車に損害を与えた場合の補償）：無制限
- ▶ 人身傷害補償（ご自身の怪我した場合の補償）：1,000 万円
- ▶ 車両補償（GOGOの車両に損害を与えた場合の補償）：補償されません

※シェアリングバイク搭乗中の個人の補償範囲となります。
※重大の過失等の事由の場合は全額自己負担となります。
(1) 運転の経験者、または免許証の携帯義務違反と認る場合は車両利用料金全額をご請求下さい。
(2) 自賠責保険を取り消しまたは下落、今後も入れに同名義での自賠責保険に加入できません。

※事故報告は速やかにおりください。ご利用者様側の事故の場合は措置も速やかに対応します。